

カリキュラム

機構施設名：	沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名：	一般社団法人香川県中小企業診断士協会

D.情報発信	SNSを活用した情報発信
インターネット活用	

コースのねらい	広報に用いるSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用方法と、ネット炎上が企業及び従業員に与える損害や被害に関する事例を通してSNSに潜む危険性を理解し、SNSの正しい活用方法と情報発信方法を習得する。
---------	---

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)		
講義内容	1	SNSの活用	(0)オリエンテーション ・本研修の目的・ゴールの共有、受講者の現状・困りごとの把握	0.1	
			(1)なぜ今、「会社の発信」なのか【講義】 ・消費者の情報行動の変化: SNSで「見かけて」、AIに「聞いて」から来店・問合せする時代へ ・沖縄特有の環境変化: インバウンド観光客はSNS・AIで行き先を選んで来訪する。求職者も応募前に企業のSNSを確認する(採用への影響) ・HPとSNSの役割の違い(信頼の置き場／出会いの接点) ・画一的な発信は埋もれる: 自社にしかない「らしさ」(人・現場・裏側)が発信の資産になる	0.5	
			(2)発信戦略の設計～目的×強み×ターゲット×媒体～【講義・演習】 はじめに主要SNS(Instagram／LINE／X／TikTok／YouTube等)の特徴と役割の違い(新しい出会いをつくる媒体／既存のお客様とのつながりを深める媒体)を解説(媒体選定ガイド)。その後、ワークシートを用いて以下の順に整理し、ペア→全体共有で磨く ・目的の選択(自社の課題から: 集客・販促／採用) ・自社の強みの棚卸し(目的に沿って: お客様に選ばれている理由／働く場としての魅力) ・ターゲットの設定(誰に届けたいか／何を伝えるか) ・目的とターゲットに合う媒体の選定(ビジネスアカウントの開設手順は配布資料で案内) ⇒成果物: 発信戦略シート一次案(会社に持ち帰ってすぐ使える形)	0.7	
			(3)沖縄県内企業のSNS活用事例分析【講義・演習】 ・沖縄県内企業の活用事例を分析フレーム[何を][誰に][どう見せて][何へ誘導]で読み解き、自社に転用できるパターンを見つける ・事例(予定): TESIO(沖縄市・食品製造小売)、島の装い。STORE(豊見城市・工芸セレクトショップ)、旭建設(北谷町・建設業の採用発信) ※事前に受講者業種を把握し、近い業種の事例への差替え・追加が可能	0.7	
	2	情報発信	(1)伝わる投稿の原則と「型」【講義】 ・SNSでの情報発信の原則(会社都合ではなく、相手の行動から設計する) ・伝わる投稿の「型」(価値訴求／ストーリー／FAQ): 型は器、中身は自社にしかない素材 ・写真・動画の見せ方とハッシュタグの基本 ・お客様の投稿・ロコミの活用(リポスト・紹介の依頼・返信) ・継続できる運用の仕組み(テンプレート化・投稿曜日の固定)	0.5	
			(2)投稿ネタの棚卸し【演習】 ワークシートを用いた個人ワーク ・投稿ネタは作るのではなく、自社の日常から発掘する(目安20個) ・「誰が主役か」で発掘する: お客様が主役(変化・声・お客様の投稿)／スタッフが主役(顔・こだわり)／商品・サービスが主役(誕生・裏側)／地域が主役(街・季節・行事) ⇒成果物: 投稿ネタ一覧	0.4	
			(3)型×生成AIで投稿を作成する【講義・演習】 ・棚卸ししたネタを使い、3つの型(①価値訴求②ストーリー③FAQ)で投稿案を作成し、ペアで磨く ※演習はInstagramのフィード投稿を標準様式とし、選択した媒体に応じた調整方法を案内 ・生成AIの活用(講師によるデモンストレーション): 投稿文のたたき台作成・磨き込みの指示文の作り方と留意点(事実確認・自社らしさの担保) ・外国人観光客を顧客に持つ企業向け: 生成AIによる英語等への翻訳投稿(デモ) ⇒成果物: 投稿案3本(見出し／本文／画像案／ハッシュタグ案／導線)	1.1	
			(4)1か月投稿計画と振り返りの仕組み【講義・演習】 ワークシートを用いて投稿計画を設計し、ペアレビューで改善する ・無理なく続けられる頻度(例: 週2回)で、型とネタを割り当てた1か月分の投稿カレンダーを作成 ・投稿後の振り返り方: インサイト(分析機能)の見方と、目的に応じた数値目標・簡易KPIの設定 ⇒成果物: 1か月投稿カレンダー＋振り返りシート	1.0	
	3	SNSの危険性	(1)炎上・リスクの全体像と留意点【講義】 ・ネット炎上のプロセスと企業が受けるダメージ ・典型リスク(情報漏えい・写り込み／著作権・肖像権／クレーム対応／内部告発)と投稿前チェックの観点 ・ステルスマーケティング規制(景品表示法)等の法的留意点(業種別の広告規制への注意を含む) ・個人アカウントと会社アカウントの線引き、アカウント管理の基礎(運用体制・権限・投稿承認・パスワードの引き継ぎ)	0.5	
			(2)投稿前チェックと相談ルール【講義・演習】 ・困ったコメント・ロコミへの対応の原則(その場で反論しない／事実確認が先／迷ったら相談) ・汎用の投稿前チェックリスト(写り込み／著作権・肖像権／誤解を招く表現等)を用いて、本日作成した自社の投稿案3本をペアで相互点検 ・自社特有のチェック項目を追加し、「迷ったら誰に相談するか」(相談ルール)を決める ⇒成果物: 自社版・投稿前チェックリスト(汎用項目＋自社項目)＋相談ルール	0.5	
	全体を通じて、時間配分は変動する場合があります。1時間に10分程度の休憩を実施します。【※】			合計時間	6.0